# たがじょう

TAGAJO CITY

## 市議会だより

令和８年（2026年）
11月１日発行
No.137




▲シルバーワークプラザのスタッフと利用者の皆さん

令和７年度決算審議　2
令和８年第３回定例会結果　4
令和７年度決算　賛成・反対討論　6
一般質問　7
あんなことこんなこと議論の足跡　13
ピックアップ議論　18
議会運営委員会視察調査報告　19

# 決算を認定

第３回定例会を９月４日（金）から 10 月２日（金）まで 29 日間の会期で開催しました。

今議会では、市民生活に直結する各種事業などを含む、令和７年度各会計決算の審査を行いました。

市民生活が一層充実するために行われた各種施策を検証するとともに、多賀城の未来を見据えたよりよいまちづくりのための議論を行いました。

## 令和７年度に実施された主な事業

**◎政策１　みんなの力で減災　安全で安心に暮らせるまちづくり（安全安心）**
- 防災情報管理事業
- 市庁舎耐震対策等事業

**◎政策２　健やかで優しい　支え合いのあるまちづくり（健康福祉）**
- ヤングケアラー支援事業
- 教育・保育施設等整備推進事業
- 公立保育所再編事業
- こども計画等策定事業

**◎政策３　夢と希望が輝く　誰もが成長できるまちづくり（教育文化）**
- 学校教育支援事業【小学校】
- 学校教育支援事業【中学校】
- 地域とともにある学校づくり事業（地域学校協働活動事業）
- 小学校環境整備事業

**◎政策４　都市と自然の環境調和　快適で潤いのあるまちづくり（生活環境）**
- ゼロカーボンシティ推進事業
- 中央公園魅力創造事業
- 雨水施設ストックマネジメント事業
- 生活交通ネットワーク維持事業



▲後方に多賀城南門を望む中央公園スケートパーク

**◎政策５　地域の資源と知恵をいかす　活気あふれるまちづくり（産業活気）**
- 農業経営支援事業
- 創業支援事業（多賀城みらい塾）

**◎政策６　地域の未来を共に創る　絆と誇りを築くまちづくり（地域創生）**
- 地域経営基盤構築事業
- 市民文化創造推進事業

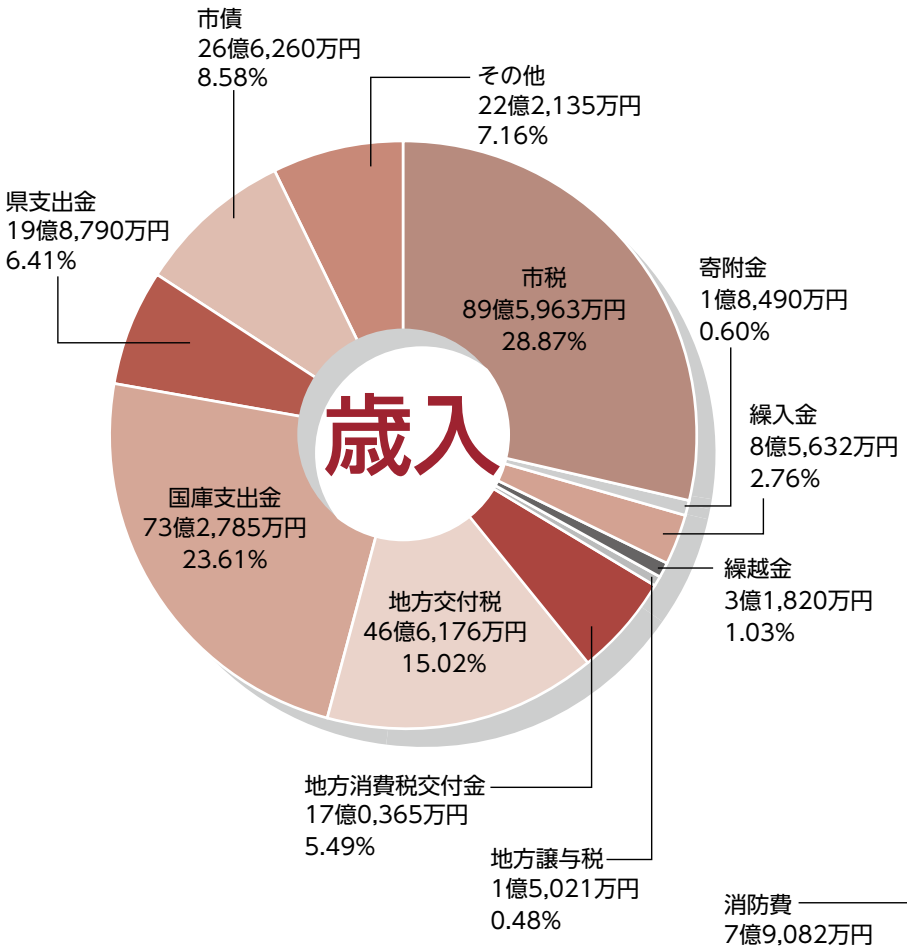
**◎政策７　縮減社会への対応　持続可能な行財政経営（行財政経営）**
- スポーツウェルネス施設整備事業

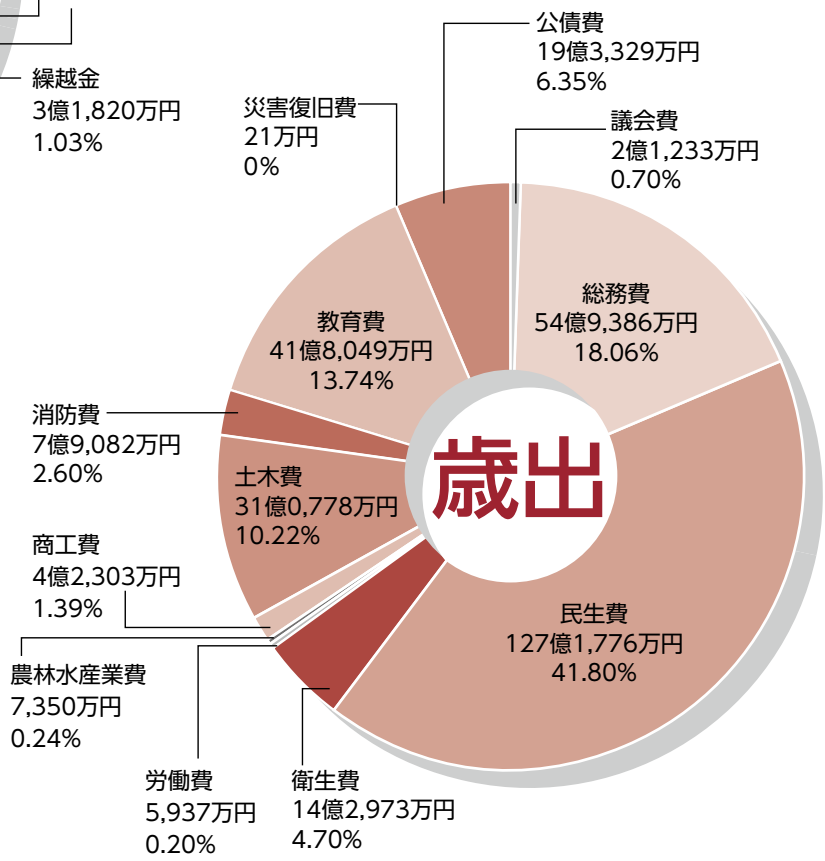
# 令和７年度

## 一般会計決算の内訳

**一般会計歳出 304億2,217万円〈歳出令和６年度比7.36%減〉**

**一般会計歳入 310億3,437万円〈歳入令和６年度比6.77%減〉**



# 第３回定例会（９月４日～10月２日開催）結果

**今定例会では、人事３件、条例３件、工事２件、補正予算５件、その他 10 件の 23 件の議案審議を行いました。**

## 市長が提出した議案

| | |
|---|---|
| 1 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて<br>現人権擁護委員の鈴木 たけの委員の任期が令和８年１２月３１日をもって満了することから同委員を再任するもの。 |
| 2 | 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて<br>現教育委員の髙田 彩委員の任期が令和８年９月３０日をもって満了することから同委員を再任するもの。 |
| 3 | 監査委員の選任につき同意を求めることについて<br>佐伯 光時代表監査委員の後任として、片山 達也氏を選任するもの。 |
| 4 | 多賀城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について<br>廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部が改正されたことに伴い、同法を引用している条項の整理を行うもの。 |
| 5 | 多賀城市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について<br>地方自治法の一部が改正されたことに伴い、同法を引用している条項の整理を行うもの。 |
| 6 | 多賀城市印鑑条例の一部を改正する条例について<br>出入国管理及び難民認定法等の改正により、マイナンバーカードを利用した印鑑登録証明書の交付について所要の改正を行うもの。 |
| 7 | 財産の取得について（災害用備蓄品）<br>災害用備蓄品の購入をするもの。 |
| 8 | 工事請負変更契約の締結について（令和７年度多賀城市八幡保育所大規模改修工事）<br>令和７年第４回市議会定例会において議決され契約を締結した「令和７年度多賀城市八幡保育所大規模改修工事」において、契約金額を増額する必要が生じたことから、工事請負契約に係る変更契約を締結するもの。 |
| 9 | 財産の取得について（タブレット端末用充電器）<br>小中学校の児童生徒が使用するタブレット端末用充電器の購入をするもの。 |
| 10 | 財産の取得について（指導者用タブレット端末）<br>小中学校で使用する指導者用タブレット端末の購入をするもの。 |
| 11 | 令和７年度多賀城市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について |
| 12 | 令和７年度多賀城市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について |
| 13 | 令和７年度多賀城市一般会計決算及び各特別会計決算の認定について |
| 14 | 令和７年度多賀城市水道事業会計決算の認定について |
| 15 | 令和７年度多賀城市下水道事業会計決算の認定について |
| 16 | 令和８年度多賀城市一般会計補正予算（第２号）<br>歳出は、教育・保育施設等整備推進事業、農業者物価高騰支援給付金交付事業及び経営環境変化対応資金連動型給付金交付事業の増額補正。歳入は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、就学前教育・保育施設整備交付金及び令和７年度多賀城市一般会計決算に伴う繰越金の増額補正。 |
| 17 | 令和８年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）<br>令和９年度から行う収納・滞納整理等業務委託について、本年度中に契約などの事務処理を行うことから、債務負担行為の追加を行うもの。 |
| 18 | 令和８年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）<br>歳出は、後期高齢者医療広域連合給付金の増額補正。<br>歳入は、令和７年度多賀城市後期高齢者医療特別会計決算に伴う繰越金の増額補正。 |
| 19 | 令和８年度多賀城市介護保険特別会計補正予算（第２号）<br>歳出は、令和７年度実績に基づく介護給付費等の国・県等への精算返還金の増額補正。<br>歳入は、介護保険事業財政調整基金繰入金の増額補正。 |
| 20 | 令和８年度多賀城市下水道事業会計補正予算（第１号）<br>下水道管路に係る全国特別重点調査の結果を踏まえた下水道管路の修繕に伴う委託料等の増額補正。 |
| 21 | 和解について |
| 22 | 和解について<br>市が貸し付けた災害援護資金の償還等につき、相手方と和解をするもの。 |
| 23 | 工事請負契約の締結について（令和８年度多賀城市庁舎耐震対策等事業西庁舎大規模改修工事）<br>令和８年度多賀城市庁舎耐震対策等事業西庁舎大規模改修工事につき、工事請負契約を締結するもの。 |

### 委員会付託・審査結果

〔6・7〕…総務産業常任委員会（可決）　〔8・9・10〕…文教厚生常任委員会（可決）
〔11・12・13・14・15〕…決算特別委員会（可決）　〔16・17・18・19・20〕…予算特別委員会（可決）

# 第３回定例会　表決一覧

**各議員が出した結論は**

| 審議案件・意見書案の番号 | 自由民主党 | | | | | | | 日本共産党 | | | 公明党 | | | 未来 | 多 | 市 | 新 | ＼ | 審議結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 大内　裕太 | 大場　和晃 | 本間　圭 | 千葉　文昭 | 佐藤　雅博 | 森　長一郎 | 鈴木新津男 | 峪　道子 | 伊藤　真弓 | 中田　定行 | 阿部　正幸 | 齋藤　裕子 | 根本　朝栄 | 池田　純 | 板橋　恵一 | 昌浦　泰巳 | 竹谷　英昭 | 米澤まき子 | |
| 議案１ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 意見なし同意 |
| ２～３ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 同意 |
| ４～10 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 11～12 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 13～15 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 認定 |
| 16～23 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ | 原案可決 |
| 意見書案１ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 意見書案２ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 意見書案３ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 意見書案４ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |

表示の説明　賛成は「○」　反対は「×」
※ 米澤議長は公正中立の立場から表決に加わらず、無会派になります。
会派名　自由民主党＝自由民主党多賀城市議団　日本共産党＝日本共産党多賀城市議団
公明党＝公明党多賀城市議団　未来＝多賀城の未来を照らす会　多＝多賀城市民の会　市＝市民クラブ　新＝新世紀クラブ

## ◎意見書案

**●意見書案１　消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書の提出について**

国は 2025 年 12 月、OTC 類似薬 77 成分 1100 品目の薬について 1 割から 3 割の窓口負担とは別に「特別料金（薬剤の 25%）」として追加負担を求めることを決めた。「追加負担導入」は、患者の受療権や健康権の侵害につながり、受診控えや受診遅れなど、命に直結する問題であり、安心して医療機関にかかれる保険制度を実現するため、国に意見書を提出するもの。

**●意見書案２　国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める意見書の提出について**

今、重くのしかかる国保料（税）は、高齢者や自営業者だけでなく非正規雇用の拡大のもと、所得が低い若い世代や雇用者によっても生活を圧迫する切実な問題となっている。特に、国民健康保険には他の保険にない均等割として、子どもにも保険料が賦課されており、子育て支援への逆行にほかならず、さらなる拡充支援が必要である。安心できる国民健康保険を実現するため、国に意見書を提出するもの。

**●意見書案３　子ども・子育て支援金制度の創設に伴う支援納付金に係る保険料負担が実質負担増とならないよう国に財政支援措置等を求める意見書の提出について**

令和８年度から子ども・子育て支援金制度が創設され、国民健康保険制度をはじめ各医療保険制度の保険者は新たに子ども・子育て支援納付金に係る保険料を被保険者に求めることとなった。しかし、子ども・子育て支援納付金に係る保険料が実質的に新たな負担増となっており、こども家庭庁をはじめ関係各省庁へも働きかけ、財政支援措置等の具体策を検討されるよう、国に意見書を提出するもの。

**●意見書案４　選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の提出について**

民法750条は婚姻による夫婦は同姓となることを規定しており、氏の変更を望まない者であっても変更を余儀なくされるため、氏名の変更を強制されない自由、法の下の平等、婚姻の自由及び両性の本質的平等を侵害され続けている。現行制度が維持される限り今後も同様の人権侵害が生じること及び通称使用法制化ではこの問題が解消できないことから世論の動向及び経済団体の意見も踏まえ、選択的夫婦別姓制度の法制化を行うよう国に意見書を提出するもの。

## ◎請願

1　**消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書を求める請願**
2　**国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める意見書を求める請願**
3　**子ども・子育て支援金制度の創設に伴う支援納付金に係る保険料負担が実質負担増とならないよう国に財政支援措置等を求める意見書を求める請願**
➡１、２、３について文教厚生常任委員会で審査した結果、「採択とすべきもの」となりました。意見書案として同内容の意見書が本会議で可決されたことから、本請願は「みなし採択※」となりました。
4　**選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の採択を求める請願**
➡４について総務産業常任委員会で審査した結果、「不採択とすべきもの」となりましたが、意見書案として同内容の意見書が本会議で可決されたことから、本請願は「みなし採択※」となりました。
※「みなし採択」・・・同じ議会の会期中において、既に同一の趣旨、目的の議案（意見書）が可決されている場合の請願について、既になされた議決と同一の議決がなされたものとみなすことをいいます。

## ◎陳情

**●地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望**
**●令和９年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い**

# 令和７年度決算 賛成・反対討論

## 賛成

自由民主党多賀城市議団
大場　和晃

### 「未来への投資を進めた決算」

**■一般会計**

●単年度収支の赤字は、物価高騰下で公共施設更新を計画的に進めたことによるもので、健全な投資と評価する。

●当初見込み 10 億円だった財政調整基金の繰入を 2 億円に抑え、補助金・起債活用と職員の努力を評価する。

●中央公園スケートパーク開園、ヤングケアラー支援、物価高騰対策ポイントの利用状況把握など各事業が着実に推進された。

**■企業会計**

●水道・下水道事業では経営努力が見られ、収支改善や更新の進捗を確認した。

## 賛成

公明党多賀城市議団
齋藤　裕子

### 「創建 1300 年～市民の暮らしと安心を未来につなぐ決算」

**■一般会計**

●市民に寄り添い、社会保障や物価高騰対策を実施するなど市民生活を守り、将来の多賀城市を見据えたまちづくりの推進を評価。

●多賀城跡ガイダンス施設、宮城オルレ多賀城コース、中央公園スケートパークが完成。新たな多賀城の歴史や観光が融合した交流拠点として賑わいの創出を評価。

●ヤングケアラーの実態調査と支援を開始しヤングケアラーの理解促進と早期発見の取り組みを評価。

**■特別会計・企業会計**

●高齢者への総合的な支援体制の強化と、認知症の理解促進に小中学校での認知症サポーター養成の取り組みを評価。

●水道事業は給水人口が減少する中、収益の増収など経営努力を評価。

※各議員の討論全文をご覧になりたい方は、こちらのＱＲコードから。

## 賛成

多賀城の未来を照らす会
池田　　純

### 「新たな多賀城の魅力を市内外に発信」

**■一般会計**

●多賀城跡ガイダンス施設、宮城オルレ多賀城コース、中央公園スケートパークがオープン。

●職員採用の強化による安定的な行政サービスの提供のほか、AI による問い合わせ対応や開庁時間の短縮など、市民の利便性と職員の働き方改革のバランスを保った取り組み。

●市税収納率が向上と、防災ビジョンにおける広告料など新たな財源確保。

**■企業会計**

●経営戦略に基づく、堅実な水道事業及び下水道事業経営。

## 反対

日本共産党多賀城市議団
中田　定行

### 「住民本位の市政運営を」

**■一般会計**

●市行政が市民の望むものになっているか、市民の希望が叶う街づくりができているかという視点で討論を行った。

●市民の願いに応えた事業については、市民と喜ぶとともに評価した。

●市政全般では指定管理制度や官民連携事業が全体的に広がって公共が失われ、市民に寄り添っているとは言い難いものになっている。

●市民に寄り添い、社会的弱者に目を向けた市政を望み、反対討論を行った。

# 第３回 定例会 一般質問



## 市民クラブ 昌浦 泰已 議員

❶市道舟橋街路一号線の改良工事について
❷施設の売却及び利用促進について

**問1** 市道舟橋街路一号線（仙石線高架と旧長崎屋立体駐車場の間の道路）は雨の際、水たまりができ、通行人に水が跳ね、抜本的な改修が必要である。市道舟橋街路一号線の改良工事の着工はいつの予定か。

**答1** 路線の改良については、舗装の全面補修に加え、道路排水機能の向上を図るための雨水排水施設の整備を併せて実施する必要があることから現時点で令和10年度から令和11年度までの2か年で実施予定である。

**問2** 市の現在使用していない施設や空き地、今後不用となる施設等をどうするか、考えないといけない時期に来ている。❶旧市立図書館、旧多賀城消防署跡地を今後どう利用されるのか。❷新体育館とプールが完成した際、旧の両施設はどのように処分されるのか、前もって考えているか。

**答2** ❶旧市立図書館については、西庁舎大規模改修工事の完了まで、主に各部署の引っ越しに伴う備品等を保管する倉庫として引き続き活用していく。旧多賀城消防署跡地については、多賀城中学校のプールの廃止と併せ、一体的な土地の売却等を検討していく。❷現時点では整備完了後に両施設の解体処分を予定し、建物解体後は、土地の売却等検討していく。



▲現在の多賀城市民プール



## 自由民主党 千葉 文昭 議員

❶上下水道の受援体制の確立について
❷介護人材の確保と地域の支え手の育成について
❸学校プールの在り方と水泳教育について

**問1** 大規模災害時には全国からの応援を円滑に受け入れる受援体制が重要である。特に本市は広域水道及び広域下水道に依存していることから、❶上下水道の受援体制の整備状況について伺う。❷広域上下水道施設被災時の県との連携について伺う。❸ウォーターPPP導入後の災害対応及び受援体制について伺う。

**答1** ❶多賀城市地域防災計画・上下水道部危機管理対策マニュアル等に基づき、関係機関との相互応援や応援職員等の受入れ体制を整備している。❷広域施設の被災時は、県と連携し断水・溢水への対応や市民への情報提供を行う。❸災害対応の最終責任は市が負い、市が中心となって応急復旧や支援の受入れを行っていく。

**問2** 高齢化が進み介護人材の不足が課題となっている中、❶介護人材の確保・定着に向けた支援について伺う。❷介護予防ボランティア及び認知症サポーターを地域の支え手につなげる取り組みについて伺う。

**答2** ❶直接的な支援を公平性を確保しながら本市独自で取り組むことは困難であり、県と連携した情報提供等の取り組みを継続する。❷活動先のニーズ把握とマッチングを進め、支援ニーズとサポーターを結びつける仕組み「チームオレンジ」の活動情報の提供や参加しやすい仕組みを整えていく。

**問3** 学校プールの今後の在り方について、集約に伴う課題を踏まえたこれまでの検討状況と今後の方向性について伺う。

**答3** 学校施設の効率的な維持管理と水泳指導の充実を両立する観点から、新たな屋内温水プールの活用を見据え、関係部署と協議・課題整理を進めていく。



▲東日本大震災時、広島県江田島市からの応援給水

# 一般質問



## 自由民主党 本間 圭 議員

❶教育行政
❷チーム担任制
❸多賀城小学校通学路の安全対策

**問1** 教育長就任から約1年。「子どもまん中、挑み続ける多賀城の教育」の成果と課題、今後重点を置く取り組みについて伺う。

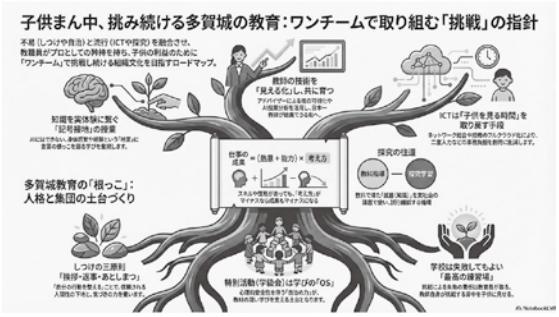
**答1** 教職員の意識改革や子どもたちの変化について等成果を得る一方で学力の向上と不登校児童生徒への対応が課題と考える。今後は、学力の向上、不登校の未然防止、体験活動の重視に重点を置き、この1年間で蒔いた「子どもまん中」の挑戦の種を、学校、家庭、地域との信頼関係の中で、子どもたちの豊かな未来に向けて、確実に芽吹かせていく。

**問2** 多賀城小で3年目を迎えたチーム担任制の成果・課題を検証し、市内各校の実情に応じて生かすための今後の展開について伺う。

**答2** 多賀城小学校の事例を中心に成果や課題を整理するとともに校長会等の機会を通じ、情報共有していく。すべての子どもたちの確かな成長と教職員の働きやすさを両立できるよう、組織的な支援を継続していく。

**問3** 子どもたちが毎日安心して通学できる環境を守るため、仙塩診療所前歩道について、現在の通学動線を維持しながら安全性を高める対策と多賀城小周辺を面的に捉えた交通安全対策について伺う。

**答3** 道路管理者や警察等の所管となるが、引き続き学校や地域からの意見を関係機関と情報共有し、児童の安全確保を最優先として適切な対応に努める。




▲子どもまん中、挑み続ける多賀城の教育



## 公明党 齋藤 裕子 議員

❶使用済み食用油の資源活用で、脱炭素の推進について
❷放課後児童クラブの取り組みと支援体制について
❸リトルベビー（低出生体重児）への寄り添う支援について

**問1** 使用済み食用油を貴重な資源として循環利用し、脱炭素の取り組みの考えについて伺う。

**答1** 宮城県が実施する実証事業について市民への周知を図り、実証結果なども参考にしながら、本市における取り組みについて研究していく。

**問2** ❶放課後児童クラブの取り組みと、職員の支援体制について。❷支援の必要な児童の受け入れに対応する職員の加配の検討が必要ではないか。

**答2** ❶利用者の増加に応じた施設整備を順次行っており、子どもの活動スペースの確保に取り組んでいる。また、職員の負担軽減を図るため、入退館システムを活用し、出欠確認や保護者との連絡を電子化している。❷職員確保に係る指定管理者と加配の必要性を伺いながら、検討していきたい。

**問3** ❶本市のリトルベビー（低出生体重児）の支援体制について伺う。❷搾乳機、母乳パック等の購入費用の助成制度を創設する考えは。❸リトルベビーとその保護者を対象とした交流会やピアサポートの開催の考えは。

**答3** ❶出生届や医療機関からの情報提供などにより状況を把握し、母子保健事業の中で状況に応じた継続的な支援を行っている。❷現時点で購入に対する新たな支援制度の創設は考えていないが、低出生体重児を養育する家庭の費用負担の状況等把握に努め、他自治体の取り組みについて情報収集を行う。❸交流会や相談会は実施していないが、保護者の不安軽減や仲間づくりにつながるよう必要に応じて団体や活動を紹介し、適切な支援につなげていく。




▶市内に設置されている食用油回収ＢＯＸ



## 公明党 阿部 正幸 議員

### ●熊本地震の教訓を生かした本市の災害への備えについて

**問** ❶災害時のトイレ対策は重要である。女性、子ども、高齢者、障害のある方などが安心して使用できるトイレ環境について。❷避難所になる小中学校の体育館へ空調設備をいつまで設置するのかについて。❸車中泊避難者や在宅避難者をどのように把握し、必要な支援物資を届けるのかについて。

**答** ❶各施設にあるトイレを簡易トイレの使用場所として指定するほか、施設内の特定の場所に仮設トイレを設置して対応する。あらゆる手段を講じ、トイレ環境を整備する必要があると考え、プライバシー、バリアフリーを考慮しながら、安心して使用できる環境の構築に努める。❷現時点において、学校体育館への空調整備時期を示す段階にはないが、国の支援制度等を踏まえ、児童生徒の安全確保及び避難所の機能強化に向け、関係部署と連携し検討を進める。❸現時点で具体的な人数を想定しているものはないが、支援拠点を市内指定避難所やさんみらい多賀城イベントプラザなどの物資集積拠点に設け、拠点を中心に車中泊避難者、在宅避難者の実態を把握し、必要な支援等を講じていく。令和8年熊本地震の報道内容等から、新たな気付きにつながった部分もあるため、今後はそのような視点からの周知啓発等も強化していく。




▶災害備蓄非常用トイレ（多賀城出身で熊本へ移住した柳原さん【しほママ】が共同開発した簡単トイレ）



## 自由民主党 佐藤 雅博 議員

### ●政庁南大路と南北大路の一体的整備に伴う新たな交通体系の考え方は

**問** 保存活用計画の中で政庁南大路と南北大路の一体的整備は盛土による地形修復を前提としていることから、市道を通行している車両に対する交通体系の検討が必要である記載がある。政庁南大路と南北大路の一体的整備は最優先着手としているが、市道新田浮島線、水入線、名古曽線などの在り方に大きく影響があると考える。動線の転換や付け替えとなれば文化庁の許可が必要である。その上で伺う。❶どのような交通体系を考えているのか。❷どのような効果を見込んでいるのか。❸文化庁との協議はどのように進めていくのか。

**答** ❶市道名古曽線の延伸整備やそれに伴う県道昇格を含め、地域住民の利便性確保と史跡の保存活用との両立を基本として検討を進めている。❷整備を行うことで多賀城跡の本質的価値をより分かりやすく伝えることが可能となるほか、来訪者の回遊性の向上につながるものと考える。また、特別史跡周辺の交通渋滞の緩和や交通環境の改善に加え、特別史跡への広域的なアクセス性の向上に寄与すると考える。❸特別史跡の復元整備事業は、宮城県が事業主体となって進め、整備等検討している。そのため、国との協議も宮城県が中心となって進めていくものと認識しているが、宮城県と連携を図り、円滑な事業推進に協力していく。



▲市道新田浮島線

# 一般質問



## 日本共産党 伊藤 真弓 議員

❶高齢者支援の政策を求める
❷不登校の児童生徒に安心できる居場所を
❸市民が利用しやすい市役所庁舎に

**問1** ❶市は在宅一人暮らし高齢者の配食事業を2023年に終了している。健康寿命を延ばし、安否確認にもなる配食事業の復活を求める。❷認知症のリスク要因の一つである加齢性難聴に対する補聴器助成を求める。

**答1** ❶民間事業者の配食サービスや高齢者等の見守り協定締結事業者も増加していることから市として配食サービスを再開する予定はない。❷国等による全国一律の基準による補聴器購入費用助成制度が創設されていないことから、現時点では困難と考えるが、引き続き全国市長会において国に要望していく。

**問2** 不登校児童生徒が増加する中で、各小中学校への「学び支援教室」の設置と専任の教職員の配置を求める。

**答2** 育支援センター」の機能を整え、安心して学べる場となるよう、各学校と連携し取り組む。各学校が限られた人的資源の中でも効果的かつ円滑に運用できるよう、実情に即して支援していく。

**問3** は、❶市庁舎エントランス棟多くの市民が利用できるように市民や団体に無料で貸出したらいかがか。❷西庁舎旧正面玄関は、常時閉鎖されている。利便性の点からも市民が出入りできるように開錠してほしいがいかがか。

**答3** 内会の公益的活動、市内保育施設等の教育目的で使用する場合などは5割減免としており、他の公共施設同様、負担が少なくなるよう配慮している。❷来庁者に対する案内や保安管理の観点から閉鎖している。



▲エントランス棟1階ホールの展示



## 公明党 根本 朝栄 議員

❶市道新田線の歩行者安全対策を
❷帯状疱疹ワクチン接種の自己負担額の見直しを

**問1** 市道新田線は、地域住民の生活道路として活用されているが、道幅が狭く歩道も設置されていないことから高齢者と子どもたちの安全確保が課題になっている。❶市道と水路が並行している新田公民館付近から関合橋までの区間に、水路を活用して「歩道の設置」をしていただきたい。❷第一分団の消防ポンプ小屋の前に「横断歩道の設置」を行い、子ども達等の安全を確保していただきたい。

**答1** ❶中野堀水路敷地を活用することで歩道空間を確保できるものと認識しているが、水路機能確保の面など様々な課題があり、道路改良着手まで至っていない状況である。早期解決できるよう努める。❷今後警察署をはじめとする関係機関と協議を進めるが、時間を要するため、車両運転手への注意喚起を目的とした新たな路面標示等を予定しており、安全確保に向けた対策を早急に実施していく。

**問2** 本市では令和7年4月より、帯状疱疹ワクチンの定期接種が始まっているが、本市の自己負担額は生ワクチンが4,900円、不活化ワクチンが18,100円である。自己負担額を県内14市と比較すると、生ワクチンにそれ程違いはないが、不活化ワクチンは大きな開きがあり本市が高くなっている。高齢者の健康を守るため他市と同等の見直しを。

**答2** 本市では、近隣二市三町と協議し、帯状疱疹ワクチン予防接種についても他のB類定期予防接種同様に接種費用のうちワクチン価格を自己負担額とし、診療報酬等について助成することとしているため、理解いただきたい。



▲市道新田線沿いの消防ポンプ小屋

# 第3回 定例会



## 日本共産党 中田 定行 議員

❶水道事業の官民連携「ウォーターPPP導入」について
❷特別史跡内の道路建設事業について

**問1** 「みやぎ型管理運営方式」導入後4年間で、県の利益が72億円減り、運営事業者が33億円の利益を上げている。国が進めるコンセッション方式は、公共の財産を民間企業の儲けの種にすることが明らかになった。「ウォーターPPP導入」について市長の見解を伺う。

**答1** 本市としては、官民連携は事業継続のための一つの手段と捉え、市民にとって最も望ましい事業運営は何かという観点から検討することが重要であると考える。経済性、効率性、有効性といった視点から長期的に安定して事業が継続できるか、また、安全性、災害対応力、技術継承、人材確保など、多様な視点から総合的に評価する必要があるものと認識している。

**問2** 都市計画道路多賀城跡仙台港線と市道名古層線は県が整備することになり、県は「文化庁との合意ができれば着工できる」と言っている。市と県の協議経過と今後の整備計画について伺う。

**答2** 道路整備の具体的な手法等について、宮城県が文化庁との協議を進めているところであり、文化庁との協議結果や関係機関との調整を踏まえ、宮城県において事業化に向けた検討が進められている。宮城県との連携を図りながら、地域住民への丁寧な情報提供や説明に努め、事業の実現に向け取り組んでいく。



▲都市計画道路多賀城跡仙台港線周辺航空写真



## 多賀城の未来を照らす会 池田 純 議員

❶交通安全対策について
❷ふるさと納税の一層の活用について
❸スポーツウェルネス施設について

**問1** ❶県道泉塩釜線の渋滞対策について。❷市道西沢線の歩行者安全対策は。

**答1** ❶塩釜警察署から、浮島灯時間を調整することが提示されており、同署において渋滞状況の調査等の実施を検討している。❷周辺の宅地開発や宮城オルレ多賀城コースの開設等で歩行者が増加しており、今後、路面標示の補修や注意喚起表示の充実について検討する。

**問2** ❶寄付額のさらなる増加に向け、新たな返礼品の開発について。❷「旅先納税」などの現地決済型ふるさと納税の導入について。

**答2** ❶10月以降、50品以上の新規返礼品の提供開始や体験型返礼品の充実に向け調整している。❷事前決済型の宿泊クーポンの導入も含め、今年度内の導入に向けて最終調整している。

**問3** ❶敷地に駐車場だけでなく、公園やイベントスペース等の交流・賑わいを創出する空間の整備について。❷子どもの遊び場の想定面積を400㎡～500㎡とした妥当性について。❸料金体系について。

**答3** ❶屋外スペースの活用についても含めた駐車場の確保策を探りながら総合的に検討する。❷「子どもの遊び場」とサブアリーナを一体的に活用することで、よりダイナミックな運動遊びを提供することも可能であると考えている。❸現在実施している市内の子どもの利用料の減免措置等はしっかりと継承していく方向で考えているが、具体的な料金体系については今後検討する。


▲市道西沢線

# 第３回 定例会 一般質問



## 日本共産党 峪 道子 議員

❶東部地域の公共交通について
❷小中学校体育館へのエアコン設置について
❸放課後児童クラブの夏休み期間弁当支援について
❹資源物ストックヤードの法制化・県条例制定について

**問1** ❶東部地域の公共交通について、「多賀城東部おでかけ便」の実証運行で地域の交通需要を検証できるのか。❷利用者・地域住民の意見を反映する考えと、本格運行に移行しない場合の移動手段の確保は。❸宮城交通汐見台団地線の高齢者・障害者の無料化等を事業者に働きかける考えは。

**答1** 増加とデジタルデバイドの解消等を目的として実施し、利用状況やアンケート結果により評価した。❷住民等の各意見については、協議会において共有し、実証運行の評価に当たり参考にする。実証運行後に課題や改善策を整理し、協議会で総合的に判断する。❸事業者が独自で運行している路線であり、市に運賃や無料対象者を設定する権限がないことから無料化は実施することができない。

**問2** 小中学校体育館へのエアコン設置を含め、暑さで成長期の子どもたちの活動が制限される状況の改善策は。

**答2** 熱中症対策や健康管理の観点から空調設備の必要性を認識しているが、導入には様々な課題があるため、学校施設長寿命化計画との整合を図りながら進めていく必要がある。

**問3** 放課後児童クラブの夏休み期間の弁当支援について、家庭の状況にかかわらず必要な栄養を取れる環境の整備を求める。

**答3** 弁当の内容等について、今回の実施状況等踏まえ、弁当事業者、指定管理者と検討を進める。

**問4** 資源物ストックヤードの法制化・県条例制定への対応を求める。

**答4** 今回の法改正の内容を踏まえ、地域の実情に応じた対応を行い、県や塩釜保健所等の関係機関と情報共有や連携を図る。




▶東部地域公共交通実証実験のお知らせ

## 市議会における 活動状況のお知らせ

（令和８年７月～９月）

### ○7月
- ７日　広報特別委員会
- １３日　広報特別委員会
- １５日　広報特別委員会
- ２１日　議会運営委員会、総務産業常任委員会
- ２８日　文教厚生常任委員会

### ○8月
- １８日　議会ＩＣＴ推進検討委員会
- ２１日　議会運営委員会、多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- ２４日　全員協議会
- ２８日　広報特別委員会

### ○9月
- ２日　議会運営委員会
- ４日～１０月２日　第３回市議会定例会
- ４日　広報特別委員会
- １６日　議会ＩＣＴ推進検討委員会
- ３０日　議会運営委員会、広報特別委員会

令和８年第4回定例会開催のお知らせ

**次回の定例会は、12月上旬から開催の予定です。**

- ●正式な日程は、決まり次第、広報多賀城・市ホームページでお知らせします。
- ●定例会本会議、予算・決算特別委員会、常任委員会（定例会会期中の開催）は、You Tube でもご覧いただけます。
- ●市議会会議録は、市ホームページでもご覧いただけます。

スマートフォンで議会中継をご覧になりたい方のアクセスはこちらから

# あんなこと こんなこと 議論の足跡

市議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、一つ一つ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第３回定例会では、常任委員会、予算特別委員会および決算特別委員会において、市当局との間で主に次のような質疑応答が行われました。

質…質疑　答…回答

## ●総務産業常任委員会

### 財産の取得について（災害用備蓄品）

**質** 主に今回購入する災害用備蓄品は。

**答** 主に食料品、飲料水である。段ボールベッド等の生活物資は。

**質** 一定の数は備えているが、災害協定を結び有事に備えている。想定避難者数と備蓄品目は。

**答** 最大２万２千人を想定し、まずは食料品と飲料水、携帯トイレの確保を優先とし避難者が困らないように備蓄をしている。

**質** 食料品の具体的な数量は。

**答** ２万２千人×３食×３日＝19万８千食を目指し７年度で81・６％、備蓄品全体では約60％である。

**質** 備蓄品の保存期限と値上がり状況は。

**答** 安価で５年の保存期間があるものを選び備蓄している。前年度と比較して約16％値上がりしている。

**質** 保存期限に達した食料備蓄品の取り扱いは。

**答** 総合防災訓練の際などで各地区に配布し無駄にならないようにしている。

## ●文教厚生常任委員会

### 工事請負変更契約の締結について（令和７年度多賀城市八幡保育所大規模改修工事）

**質** 変更内容は。

**答** 工事前に目視で確認出来なかった部分について、補修等が必要な箇所が見つかったため、各工事を追加するものである。

**質** 具体的な内容は。

**答** 主に床下の基礎部分の補修、アスベスト撤去工事、公共桝入替工事等である。

**質** 変更契約分増額の内訳は。

**答** アスベスト撤去工事費約506万円、躯体補修工事費約1,039万円、公共桝入替工事費等約443万円、全体で約1,988万円。

**質** 財源の見通しは。

**答** 地方交付税による財源措置のある公共施設等適正管理推進事業債で1,670万円、公共施設等総合管理基金で318万円の活用を見込んでいる。

**質** 工事期間は。

**答** 工期は令和９年３月25日までですが、２月中に建物完成、外構工事も含めて３月中旬には現場を完了させるよう調整している。



▲八幡保育所改修工事の様子

### 財産の取得について（タブレット端末用充電器）

**質** 入札に21社が参加、16社が辞退、２社が失格となったが、その要因については。

**答** 辞退についての主な要因はタイミングが合わない、見送るとの連絡があった。失格については、連絡もなく現れなかった。

**質** 連絡もなく現れないことについて、ペナルティはないのか。

**答** 現時点ではそのようなルールはない。

**質** タブレット端末用充電器の使用想定は。

**答** ５年間の使用想定で、家庭での学習に支障なく使用し学習できるようにしたいと考えている。

**質** タブレット端末用充電器の購入数は。

**答** 児童生徒への配布分に予備を加えて、5,140個である。

# 議論の足跡（あし あと）

質…質疑
答…回答

## ●令和8年度補正予算

### 脱炭素化推進事業

**質** 市長公用車の購入に関わり、脱炭素化推進事業債が認められ、590万円の財源組み換えがあった。これは、ハイブリッド車だから認められたのか。

**答** その通りである。

**質** この事業債は、令和9、10年度と継続していくのか。

**答** 令和12年度まで活用可能な事業債である。

**質** 市の公用車約60台についても、リースから環境に優しい電気自動車に変えることを考えたらどうか。

**答** リースでも受け取れる補助金はある。今後、どちらが財政上負担が軽くなるのか検討をしたい。あわせて職員の負担軽減についても考慮したい。

### 天真小学校南側法面整備設計業務委託料について

**質** 設計業務が計上された経緯は。

**答** 崩落があった現場を確認したところ、法面の風化や既設のワイヤーネットの劣化が確認された。応急処置は行ったが、安全の確保には恒久的な対策が必要と感じたためである。

**質** 法面が整備されたのはいつ頃だったのか。

**答** 昭和63年から平成2年にかけて整備したものと認識している。

**質** 今後のスケジュールは。

**答** 今年度中に設計業務を終わらせ、工事については来年度の補正予算で対応していきたいと考えている。

**質** 周辺住民への説明や周知は。

**答** 現場に隣接している住民には状況を説明しているが、地域住民にはどのような工事になるか、設計が出た後に説明をする予定である。



▲天真小学校下の法面部分

### 市有地枯損木（こそんぼく）伐採等業務

**質** 委託料として、1,560万円の補正だが、業務内容は。

**答** いずれも市川地区内の加瀬沼公園沿い、加瀬用水路沿い及び作貫道沿いのエリアを中心に枯損木の伐採を行う。伐採が必要な樹木は調査済みであり、伐採後一部樹木はウッドチップとして再利用するため、ウッドチップの作成も業務内容としている。

**質** ウッドチップはどのように活用するのか。

**答** 史跡内の散策路において、歩行に不便をきたしている場所に、安全性・利便性を確保するため敷く予定である。

**質** 財源は。

**答** 森林環境譲与税を活用する。



▲対象エリアの枯損木

## ●令和7年度決算

### 収納率の向上について

**質** 令和7年度の地方税統一QRコード全体の利用件数は。

**答** 令和7年度の利用した納付は約2万4千件で昨年度と比較して約6,700件増加している。

**質** どのような納付方法なのか。

**答** 自宅のパソコンやスマートフォンから「地方税お支払いサイト」にアクセスすることでクレジットカードやスマートフォンなど様々な方法で納付できる。

**質** 国民健康保険の被保険者が減少する中、国民健康保険事業会計の収納率、収納額ともに上がった要因は。

**答** 収納率については地方税統一QRコードなどの仕組みを推進してきたことが挙げられる。滞納整理についてはデータによる調査に力を入れたことにより、財産調査や滞納処分の効率化を図ることが出来た。また窓口での折衝や不動産の売却など、長年解消できなかったものを職員が一丸となって取り組んだ結果と考えている。

## 地域福祉推進事業

**質** 令和7年度に策定した地域福祉計画第5期の主な内容について伺う。

**答** 第5期地域福祉計画は令和8年度から令和12年度までの5年間を、計画期間として「共に支え合いみんなが安心して暮らすまちづくり」を基本理念に、地域共生社会の実現を目指す計画である。市民、地域、事業者、行政が連携しながら「助け合い支え合えるまちづくり」「多様性を認め生き生きと暮らすまちづくり」「地域社会を支えるネットワーク作り」の3つを基本として取り組みを進めている。

**質** 計画策定過程において、地域福祉の課題などについてはどのように検証したのか伺う。

**答** 地域活動等の活性化と地域を支える担い手づくりの強化、人権の尊重と誰も排除されない地域づくり、包括的な地域資源体制整備と地域を支える連携の強化の3つを重点的な課題として、市民、地域、関係機関、行政が連携しながら取り組みを進める。

**質** 地域を支える連携の強化の取り組みについて伺う。

**答** 包括的支援体制推進会議の開催を始め、地域カルテの作成や市内17ブロックに分けての地区ミーティングの実施により、地域包括支援センターや自立相談支援機関、こども家庭センターなど、関係機関との連携強化に取り組んだほか、関係機関の職員を対象とした地域共生社会セミナーを開催して理解促進を図っている。

## ヤングケアラー支援事業

**質** 中学生を対象としたアンケート調査の内容について伺う。

**答** 市内公立の中学校4校の全校生徒を対象として、教育委員会と各学校と調整をさせていただき、学級活動などの時間を活用して調査を実施した。アンケートの実施状況は、1,642名に対して1,528名に回答をいただき回答率は93.1％である。

**質** 調査結果は。

**答** ヤングケアラーの可能性が高い生徒や何らかの支援が必要となる可能性がある生徒は165人で全校生徒の約10％の結果となっている。

**質** 対象生徒に対しての面談について、当初予定より少なかった要因は。

**答** 令和2年度に国の調査に基づいた数値に倣い、面談の想定人数を75回と設定したが、165名の生徒に対して、面談の実施者数が18名、回数が延べ21回であった。中学生という年齢柄もあり、相談することへの抵抗感や、自ら支援を求めない状況があると捉えている。本人が希望しない中で無理に面接を進めるということが難しい状況があり、本人の意思を尊重しながら、学校と連携をして丁寧に見守りや相談支援につなげていきたいと考える。

**質** 調査の成果について。

**答** 学校と調査結果を共有して、支援が必要となる可能性のある生徒について見守りや相談につなげていく体制づくりを構築できたと考えている。

**質** 結果課題の対応策は。

**答** お子さん本人が支援を必要と認識していない、家庭の事情を話しづらいという特性があるという、把握の難しさが課題であると捉えている。学校や各関係機関と連携をさらに強化し、周知啓発を通じ、早期発見、早期支援に取り組んでいきたいと考える。

## 学校給食調理事業

**質** 学校給食の残食実績と令和6年度からの推移は。

**答** 給食の残食率は小学生は19.0％、中学生は16.9％。小学生の残食率が令和6年度より微増傾向である。

**質** 残食が多い日や少ない日の給食メニューの傾向は。

**答** 家庭で食べ慣れない煮物などは残食率が多い傾向にあり、カレーなどの残食率は低い傾向にある。

**質** 食への関心や食育、生産者や調理している方々への感謝という視点でどのような取り組みを行っているか。

**答** 給食センターの栄養士が学校で食育指導の取り組みを行っている。



▲とある日の給食

# 議論の足跡（あし あと）

質…質疑
答…回答

## 多賀城跡ガイダンス施設維持管理事業

**質** 令和7年度決算額について。

**答** 1，910万8，386円の事業費である。

**質** 来場者へのアンケート調査結果について。

**答** 令和7年度ガイダンス施設来訪者のうち、570名ほどの方から回答をいただき、9割の方からは多賀城跡の歴史が理解できた、というような評価する意見であった。交通手段は自家用車を利用している方が多く、電車を利用して来場する割合が少なかった。また、本市以外の県内及び県外の方が多いという結果であった。

**質** 中央公園スケートパークとガイダンス施設の利用者が相互に行き来しやすくなるような、交差点からガイダンス施設への動線の確保について。

**答** 以前に比べれば利便性は向上していると認識しているが、必要に応じて検討していきたい。

**質** ガイダンス施設に何度も足を運んでもらうための取り組みについて。

**答** 南門周辺での光のインスタレーションやファッションアワード等、様々なイベントの場を提供した。

**質** 観光ボランティアガイドの活動内容は。

**答** 南門や多賀城碑、政庁跡での定点の案内のほか、ガイダンス施設に常駐しているガイドが来訪者に向けて案内している。



▲ガイダンス施設

## 防災情報管理事業

**質** Jアラート（全国瞬時警報システム）と連動する災害情報一斉配信システムで配信されるツールは。

**答** 防災アプリ、市公式LINE等各種SNS、国道45号設置の防災ビジョンへ情報連携がされる。

**質** 市民の災害情報取得方法の実態について把握しているか。

**答** 把握していない。次に事案があった際に検討する。

**質** 東日本大震災から15年が経過し情報発信ツールも多様化した中で、現在の情報発信ツールそれぞれの有効性についてどのように検証されているか。

**答** 情報発信については一つに偏ることなく多様な情報発信体制を構築することが重要である。

## 中央公園魅力創造事業

**質** 3月14日にオープンしたスケートパークエリアは、令和7年度は18日間の営業で有料施設利用者数が4，779人となっているが、どのように評価しているか。

**答** 指定管理料の試算では、令和8年度1年間では約1万3千人と見込んでいることから、18日間で約4，800人は順調な利用状況であると評価している。また、各施設の利用者数の内訳は、スケートパークが4，519人、3×3コートが260人となっている。

**質** 当初11月にオープンする予定であったが、オープンの遅延に伴い、受注業者等への違約金は発生しなかったか。また、令和7年度の指定管理料はいくらであったか。

**答** オープンの遅延に伴う違約金は発生していない。令和7年度の指定管理料は、754万7千円である。



▲中央公園スケートパークの賑わっている様子

## ゼロカーボンシティ推進事業

**質** 「次世代自動車導入支援事業」の実績は。

**答** 電気自動車9台分の補助金を交付した。

**質** 市民モニターを募集した「置き配促進プロジェクト（再配達削減実証実験）」の実績は。

**答** 想定通り309件の実績である。

**質**　温室効果ガス排出量抑制という視点で事業展開しているが、緑化推進など吸収量を増加させる取り組みの検討はされているか。

**答**　みやぎ環境交付金には環境緑化のメニューもあることから、企画を研究する。

**質**　市民や民間事業への啓発に対する取り組みは。

**答**　あやめ祭りなどイベント会場で、再生可能エネルギーの普及促進など実施した。



▲置き配バッグ（イメージ）

## AIチャットボットについて

**質**　市の公式LINEの中に組み入れて運用を始めたが、令和7年度の問い合わせ実績は。

**答**　令和8年1月5日から令和8年3月31日までで1，384件となっている。

**質**　どのような問い合わせが多かったのか。

**答**　マイナンバーの手続き、ゴミ・廃棄物関係や水道の手続きのほか、時期的なものとして物価高騰対策の給付金や、みやぎポイントに関すること、確定申告関係の問い合わせが多くあった。

**質**　公式LINEの運用経費と登録者数は。

**答**　令和7年度の運用経費は約339万円、登録者数は令和8年3月末現在で2万5，578人となっている。




▲AIチャットボットメニュー画面

## 認知症サポーター養成事業について

**質**　認知症サポーターは令和7年度までの累計で5，701名だったが、市内小中学校での認知症サポーター養成講座の開催状況は。

**答**　小学校が2校、中学校が3校で合計5校である。

**質**　小学校と中学校の内訳の人数を伺う。

**答**　多賀城小学校6年生80名、山王小学校3年生132名、多賀城中学校3年生132名、東豊中学校1年生62名、多賀城第二中学校2年生146名、加えて市内介護事業所で受講した私立中学校の生徒3名の合計で555人がサポーターとなった。

**質**　小中学生の認知症サポーターの取り組みが大変向上している。学校での開催に向けた取り組みについて伺う。

**答**　校長会で説明の機会をいただき、学校側からのご理解を賜り希望のあった学校で行っているが、増加傾向にある。



▲認知症サポーター養成講座の様子

## 生活交通ネットワーク事業

**質**　バス運賃無料化の社会実験の登録者数について、令和6年度2，130名から令和7年度2，662名に増えている。社会実験の成果をどのように分析しているか。

**答**　高齢者や障がい者の外出する機会が増えたこと、ICTの活用が定着したことなどがアンケート結果から伺える。

**質**　東部線・西部線運賃全額免除導入に伴うカードタイプとアプリタイプのそれぞれの乗車証利用者の数について伺う。

**答**　カードタイプは、令和7年度の761枚。今年度分と合わせて1，227枚。アプリタイプは、令和7年度の1，739枚。今年度を入れると合計2，800枚。



▲多賀城コミュニティバス

# ピックアップ 議論

**決算特別委員会および予算特別委員会において質疑が行われました。**

## 下水道管路全国特別重点調査

〈経 緯〉

| | |
|---|---|
| 令和７年 ３ 月 | 埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を契機に、国土交通省から管径２メートル以上かつ平成６年度以前に設置された汚水管、雨水管、合流管を対象に下水道管路の全国特別重点調査の実施要請あり |
| 令和７年12月～<br>令和８年 ２ 月 | 多賀城市は雨水管のみ対象となったが、全国特別重点調査として、雨水管 3,028m の潜行目視調査に加え、路面空洞調査等を実施 |
| 令和８年 ３ 月～<br>令和９年 ３ 月 | 調査の結果、対応が必要な箇所について、修繕や改築等の手法の設計調査 |
| 令和８年10月～ | 緊急度Ⅰ、Ⅱ（※）判定を受けた箇所（下表）の修繕設計及び緊急度Ⅰの修繕を実施 |

〈修繕設計対象雨水幹線〉

| | 雨水幹線名 | 幅 (m) | 高さ (m) | 延長 (m) | 設置年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 下馬１号雨水幹線 | 2.3 ～ 2.5 | 2.0 ～ 2.5 | 977 | 昭和 51 年度～昭和 52 年度 |
| ② | 留ケ谷１号雨水幹線 | 2.4 ～ 5.5 | 2.5 ～ 3.5 | 139 | 平成 5 年度～平成 6 年度 |
| ③ | 高崎雨水幹線 | 2.0 ～ 3.1 | 2.0 ～ 2.4 | 755 | 平成 3 年度 |
| ④ | 旭ケ岡雨水幹線 | 2.2 | 1.7 | 98 | 平成 3 年度～平成 5 年度 |
| ⑤ | 桜木雨水幹線 | 2.0 | 2.1 | 78 | 昭和 63 年度 |
| ⑥ | 宮内雨水幹線 | 2.5 | 1.6 | 581 | 昭和 45 年度 |
| | | | 合　計 | 2,628 | |

（※）緊急度Ⅰとは、原則１年以内に速やかな対策が必要な状態
緊急度Ⅱとは、５年以内に対策が必要な状態

**質** 令和７年度の全国特別重点調査の決算額は。

**答** 1,171万5千円。うち、1／2は国費である。

**質** 今回の補正予算3,000万円の内訳は。

**答** 修繕設計に2,000万円、緊急度Ⅰの修繕に1,000万円を予定している。財源は単独費（起債）が100％である。

**質** 高崎雨水幹線の143m のみ緊急度Ⅰということだが、その修繕はいつ行う予定か。

**答** 今年度に実施する予定。

**質** 緊急度Ⅱの修繕はいつ行う予定か。

**答** 国から５年以内に修繕するよう要請があることから、来年度から４年かけて実施する予定。

# 視察調査報告

## 議会運営委員会

議会運営委員会では、より一層円滑な議会運営を図るため、令和8年7月8日及び9日で視察調査を行いました。

**●視察調査先**

・福島県伊達市議会
・福島県南相馬市議会

**●調査事項**

・議会改革の取り組みについて
・予算、決算の審議について




**議会運営委員会**

| | | |
|---|---|---|
| 委員長 | 板橋 | 惠一 |
| 副委員長 | 根本 | 朝栄 |
| 委員 | 大内 | 裕太 |
| 委員 | 中田 | 定行 |
| 委員 | 竹谷 | 英昭 |

**同行**

| | | |
|---|---|---|
| 副議長 | 鈴木新津男 | |



▲伊達市議会での調査の様子

**●所感**

伊達市議会では、「政策力の強化」「主権者の参画」「議会機能の強化」の3つを柱とした議会改革が進められており、議会基本条例に基づき企画・実施されている議会報告会において、高校生との意見交換の内容を精査し要望書の提出につなげるなど、それぞれの取り組みが連動している点が印象的でした。



▲南相馬市議会での調査の様子

南相馬市議会では、「議会基本条例」、「議会議員政治倫理条例」及び「議員間討議実施要綱」の制定、議会改革検討特別委員会の設置に至る経緯などについて説明を受けました。

議会改革の検討にあっては、議会運営委員会において調査項目の抽出や精査を行った上で具体的な検討に入るなど、定例会の運営のみならず、議会そのものの運営を視野に入れて協議されていると感じました。議員間討議については、多賀城市議会においても必要性を感じる一方で、他条例同様に慎重な検討は必要であると考えます。

両市に共通していたのは、既存の制度や運用方法に常に課題意識を持ち、前例に捉われずに改善を図る姿勢でした。今回の視察で得た学びを今後の多賀城市議会の運営に活かすべく邁進してまいります。

（委員長　板橋　惠一）

# 今月の表紙

## 市内公共施設の指定管理者の皆さんをシリーズで紹介します。

今回御紹介するのは、シルバーワークプラザの指定管理者である公益社団法人多賀城市シルバー人材センターです。


▲シルバーワークプラザ外観

### ★主な業務内容

・多賀城市シルバー人材センターの拠点として、植木剪定やペンキ塗り、パソコン操作などの仕事を担う技能講習会、書道、手芸など高齢者に働く機会や交流、生きがい、地域の活性化に貢献しています。
・人材センター会員合わせ、年 6,000 件ほど就労相談に応じています。

### ★運営で大切にしていること

・より多くの方に参加していただき、働く機会の提供、高齢者の生きがいの充実や生活の安定を目指し、また来たくなるような企画を実施しています。
・安心安全に利用できるよう整理整頓に気を付けています。
・できるだけ講師は市民や年齢の近い方にお願いするようにしています。


▲取材風景

### ★工夫している点

・各教室は同じ利用者にならないよう、３か月区切りの募集とし、初めての方は優先的に希望の教室へ参加できるようにしています。
・利用者からの声も大切にし、レザークラフト教室など様々な要望に応じ開催しています。
・広報誌や市公式ＬＩＮＥなどＳＮＳでの募集のほか、公共施設にパンフレットを置くなど多くの方に知ってもらうきっかけづくりをしています。

### ★市民の皆さんへ

働く機会や交流の場、生きがいの充実、社会参加のきっかけづくりに活用してください。

〈施設基本データ〉
施 設 名：多賀城市シルバーワークプラザ
開館時間：月曜～土曜日　８時 30 分～ 17 時 15 分
休 館 日：日曜祝日、12 月 28 日～１月４日
令和７年度来館者数：10,277 人


▲日曜大工教室の様子

取材当日は日曜大工教室が開催され、各自楽しそうに作業をしていました。このような場は技術の向上や新たなコミュニティづくりに寄与していると感じました。他にも興味深い教室や講座がたくさんありますので、ぜひご活用してください。

（リポーター　大場　和晃）

## 編集後記

多賀城市議会定例会は年４回（２月・６月・９月・12月）開催され、すべての議案はこの中で審議、議決し執行されます。

第３回定例会（９月議会）は、前年度決算を認めるか、認めないかが主な議案です。つまり、決算状況と予算執行内容の妥当性などを審議しています。

議会だよりは、限られたページ、限られた予算の中で、市民生活に特に影響や関係がある事柄を広報特別委員会で抜粋し、紙面全般において簡単明瞭を心がけ、より分かりやすい、読みやすいを基本に編集作業をしています。議会と市民をつなぐ議会だよりで、本市の現状を確認していただきますようお願い申し上げます。

（佐藤　雅博）

### 広報特別委員会

| | |
|---|---|
| 委員長 | 佐藤　雅博 |
| 副委員長 | 齋藤　裕子 |
| 委員 | 伊藤　真弓 |
| 委員 | 池田　純 |
| 委員 | 大内　裕太 |
| 委員 | 大場　和晃 |